

# 昭和三年哲學界論文一覽(上)

## 哲 學

史學に於ける過去の認識(哲學研究一月號)

惡の問題に就いて(同一月號)

先驗生成的方法について(同二月號)

機械作用と身體の個性(同三月號)

方法概念の分析(同三、九月號)

所謂認識對象界の論理的構造(同四月號)

辨證法の論理(同五、十一月號)

プラトンに於ける自體と存在(五月號)

個性の問題と反省的判斷力(同六月號)

自己自身を見るもの、於てある場所と意識の場所

(同七月號)

ウイリアム・デエイムスの認識論と形而上學

(同七、八月號)

認識の現象學的解明に就いて(同七月號)

コーヘンに於ける根源と非有(同八、九、十二月號)

解析論に於ける拒中律排棄の論議に關する Otto Hölder

の二つの批評(同九月號)  
睿智的世界(同十月號)

アリストテレスの運動について

(同十一、十二月號)

哲學の危機(哲學雜誌一月號)

前現象學と現象學(同一月號)

價值自覺としての歴史(同三、四月號)

觀念的聯關と事實的聯關(同三、四、六月號)

カント目的論の考察(同四、五月號)

批判の原理(同五月號)

思惟と反省想像(同六月號)

現象學的領域とその構成(同七、八月號)

道學と哲學(同八月號)

數1及+1の哲學的意味(同九月號)

明證の所在(同十月號)

素と機(同十月號)

Quäbicker-Seibuth (同十月號)

純粹體驗に於ける自我(同十月號)

ハルデーン卿の哲學(同十月號)

エックハルトの「辨明書」の新發見について

下村寅太郎  
西田幾多郎

小島威彦

桑木嚴翼

佐竹哲雄

杉原圭三

三枝博音

松本良彦

紀平正美

兒山敬一

和田治平

小柳司氣太

兒山敬一

田邊元

紀平正美

桑木嚴翼

佐竹哲雄

大島正徳

由良哲次

高坂正顯  
速水敬二

西田幾多郎

戸坂潤

大西友太

赤松元通

西谷啓治

田邊元

高田三郎

高山岩男

田邊元

高田三郎

高坂正顯

速水敬二

由良哲次

- (同十月號)
- 綜合判斷の最高原則(同十月號) 石原謙
- 命令(同十一月號) 伊藤吉之助
- ニコライ・ハルトマンの學的立場としての立場 齋藤响
- 自由性ニ現象學(同十一月號) 後藤一民
- 物質性(精神科學第一號) 西晋一郎
- 應用史學(同第三號) 新見吉治
- プラトンの對話「パルメニデス」の研究(同第三號) 河合讓
- 科學批判の課題(新興科學の旗のもとに第一號)
- 理論、歴史、政策(同第二號) 三木清
- 性格概念の理論的使命(同第二號) 三木清
- 有機體説ニ辨證法(同第三號) 戸坂潤
- プロテイノス哲學に於ける「神」の意義(基督教研究第五卷第一號) 三木清
- 價值論(觀想七月號) 蘭川四郎
- 宗教ニ倫理學(理想第五號) 田中治六
- プラトン管見(同第五號、第六號) 淡野安太郎
- デカルトよりヴィコへ(哲學第四輯) 川本爲郎
- プロタゴラス「ホモ・メンストラ」命題の一解釋 青木巖
- (思想一月號)
- 妥當、價值、規範(同二月號) 田中美知太郎
- 述語的論理主義(同四月號) へリゲル
- 藝術形態ニ人間形態(同六月號) 西田幾多郎
- 空間概念の分析(同六、八月號) 城戸幡太郎
- 自然科學諸分科の對象的配刻(同八月號) 戸坂潤
- フイヒテの知識學について(教育學術界五月號) 一瀬雷信
- ハイデッガーの存在ニ時間(同五月—九月號) 由良哲次
- ナトルプの哲學的立場ニその心理説(同六月—八月號) 大關増次郎
- ナトルプ實踐哲學の體系的基調(倫理教育研究四、七、十月號) 由良哲次
- 山田榮

印度哲學、佛教、神道等

龍樹哲學に於ける物自性の問題(哲學研究一、二、三、月號)

稻津紀三

空觀の哲學、存在より行へ(龍樹の哲學の根本問題)

稻津紀三

(同八月號)

龍樹に於ける物と相の問題(中觀論六種品の研究及び解釋(同十一、十二月號))

稻津紀三

我神道に於ける一神教的思想の發達(精神科學第一號)

清原貞雄

山崎闇齋の神道説と其の傳統(同第四號)

清原貞雄

矢野玄道に於ける古神道發展の一面(同第四號)

秦四郎

徳川時代に於ける專修念佛勸化の考察(藝文一月一四月號)

井川定慶

起信論の成立に關する史料に於て(宗教研究一月、三月號)

鈴木宗忠

十二部經に關する研究(同一月、五月、十一月號)

林屋友次郎

スタイン氏蒐集燉煌出土支那古寫本の調査(同一月號)

矢吹慶輝

吹檀多精要と十五章篇(同三月、五月號) 金倉圓照  
 佛陀時代の政治状態(同三月號) 羽了諦  
 聖徳太子と大陸佛教との關係序説(同三月號)

胎藏界曼荼羅の三角印に就て(同三月號) 池田澄達  
 梵文金光明經を讀む(五月號) 泉芳璟

藥師如來の信仰と新藥師寺本尊(同五月號) 稻葉茂

梵文佛教經典概観(同特輯號) 泉芳璟  
 巴利佛教思想研究について(同特輯號) 手島文倉

支那佛教の一般傾向(同特輯號) 佐藤泰舜  
 西域佛教の研究(同特輯號) 羽了諦

五逆罪の成立について(同特輯號) 長井眞琴  
 大乘無量壽宗要經について(同特輯號) 矢吹慶輝

傳教の圓頓戒を論ず(同特輯號) 常盤大定  
 聖徳太子維摩經義疏所依の註疏について(七月號)

天壽國續張攻(同七月號) 寺崎修一  
 天台實相論の研究(同七月號) 大屋徳城

日本で朝鮮の國祖の云はる、檀君を祀つた神社  
 (同七月號) 石津照璽

加藤玄智

- 父母重恩經の異本に於て(同七月號) 禿氏祐祥  
 密教の祈禱論(同七月號) 大山公淳  
 世親の唯識説に於ける識の概念(同九月號) 稻津紀三  
 印度神祕主義の素描(同九月號) 増谷文雄  
 北印度の宗教ミ民間傳承(同九月號) 甲斐實行  
 タバンミライ社の生活ミ行事(同九月號) 宇野圓空  
 楞伽經研究雜記(同十一月號) 鈴木大拙  
 光宅の天台及び聖德太子に及ぼせる影響について  
 (同十一月號) 幸村法輪  
 佛傳文獻に現れた數論瑜伽思想に就いて(同十一月號) 平等通昭  
 ヨーガスートラにおける哲理ミ體驗(同十一月號) 岸本英夫  
 成唯識論の性質及び立場ミ第七識存在の論證  
 (思想五月號) 宇井伯壽  
 龍樹に於ける存在の問題(同五月號) 稻津紀三  
 吠檀多の一異派、特にバースカラに就て(同五月號) 金倉圓照  
 無性攝論に於いて(龍谷大學論叢二月號) 玉置韜晃  
 祕事法門に於ける如來の觀念ミ歸命の信相(同二月號) 大原性實
- 迦膩色迦王問題(同四月、六月號) 羽溪了諦  
 提婆ミその著作(四月號) 山田龍城  
 存覺上人の證果分極論(同四月號) 小山法城  
 唯識教義に於ける道德思想(同四月號) 大友抱璞  
 空華學派の行信説を論じて善護師のそれに及ぶ  
 (同八月號) 大沼善隆  
 石泉僧叡和上の行信論(同八月號) 是山惠覺  
 龍華學徹行信論(同八月號) 鈴木法環  
 道振師の行信論(同八月號) 豐水樂勝  
 大嚴師の行信論(同八月號) 杉紫朗  
 月珠師並圓月師の行信論(同八月號) 雲山龍珠  
 專精院鮮妙和上行信義(同八月號) 遠藤秀善  
 伊井智量師の行信論(同八月號) 小山法城  
 釋籍傳來考(同十月號) 禿氏祐祥  
 台密の教判(同十月號) 増山顯珠  
 平安朝初期密教成立の精神生活史的背景(教育學術界  
 三月號) 土田杏村  
 日本建國の祖神に就いて(倫理教育研究四月號) 補永茂助  
 荷田春滿の創倭學校啓草稿に就いて(四月號) 加藤仁平

歎異抄を讀む(大谷學報 二月號)

鈴木大拙

平安末期に於ける南都系の淨土教(同二月號)

高西賢正

バリタの研究(同二月號)

日暮京雄

梵學津梁を論ず(同五月號)

泉芳璟

羅什譯十誦比上尼波羅提の又戒本の出現並

西本龍山

諸部僧尼戒本の對照研究(同五月號)

日暮京雄

有分識に就て(同五月號)

寺本婉雅

西藏所傳梵巴阿含經の諸典(同同五月號)

橋川正初

光遠院惠空講師(同十月號)

期宗學界に於ける西方寺空懸の研究(同十月號)

日下無倫

香月院を中心として(同十月號)

廣瀬南雄

圓乘院宣明講師の遺風(同十月號)

上杉文秀

香樹院に就いて(同十一月號)

大須賀秀道

明治初期に於ける大谷派の學事史(同十月號)

水谷詩

### 基督教

基督教起源の社會史的考察に於て(同第二號)

蘆田慶治

エペソ書の起源に關する一考察(同第二號)

富森京次

ヨハネの出現(同第三號)

富森京次

「神の言」に關するカールバルトの思想(同第三號)

魚木忠一

切支丹史中フランシスコ會の傳道(宗教研究一月、三月號)

姉崎正治

ウエルギリウスの地獄界(同三月號)

黒田正利

猶太宗教思想上のコヘレッツの位置(同五月號)

日野眞澄

近東の古代宗教研究上の主要問題(同特輯號)

赤松智城

使徒パウロの聖靈觀に就て(同七月號)

蘆田慶治

ゼウス崇拜の一形相(同九月號)

松村武雄

コヘレッツの根本思想(同九月號)

日野眞澄

メシアミその性質(同九月號)

丸川仁夫

パウロ書翰の諸問題(同十一月號)

三枝義夫

エツクハルト研究の過去及び現在(思想三、四月號)

石原謙

近世新教神學思想發展の一考察(基督教研究第五卷)

(第一號)

魚木忠一

舊約に於ける逆縁婚の習俗ニ規定(龍谷大學論叢

六月、十月號)

松井 丁 穩

兒童の心理ニ宗教の起源(同七月號)

古野 清 人

罪穢の諸相(同九月號)

原田 敏 明

神聖樹としての檜に就いて(同十一月號)

藺川 四 郎

宗教信仰の心理的型(龍谷大學論叢十月號)

岡 道 固

### 宗 教 學

フイヒテの宗教哲學(精神科學第三號)

河 瀨 憲 次

宗教研究の一考察(宗教研究一月號)

赤 松 秀 景

稻の靈魂について(同一月號)

宇 野 圓 空

名不滅觀(同三月、五月號)

原 田 敏 明

未開人心理の一研究(同三月號)

古 野 清 人

現代神學の方向ニ課題(同五月號)

菅 園 吉

宗教に關する生蕃習俗の探訪(同五月號)

宇 野 圓 空

宗教心理のある見方(同五月號)

岸 本 英 夫

宗教哲學即今の中心問題(同特輯號)

久 松 眞 一

神話學の新展開(同特輯號)

松 村 武 雄

宗教の民族學的研究(同特輯號)

宇 野 圓 空

新社會派の宗教研究(同特輯號)

赤 松 秀 景

Religions universells et Religions particulieres

Sylvain Lévi

(同特輯號)

アルブレヒト・トリツチユルの神學に於ける歴史の

大塚 節 治

理性的態度(同七月號)

上野 隆 誠

宗教的態度(同七月號)

## 倫理學

生命倫理學の諧相(倫理教育研究一月號)友枝 高彦  
續日本紀に現れたる禮の思想と實際(同十月號)

亘理章三郎

アリストテレース倫理學の限界(哲學研究六月號)

小田 清

コーエンの倫理學(學校教育一月—八月號)

藤井種太郎

公正に就いて(哲學雜誌二月號)

土田 誠一

シエラーの倫理學に於ける幸福主義の問題

小島 軍造

(同二、三月號)

カントの實踐哲學に於ける傾向性と道德律との

對立に就て(同十、十一月號)

水戸義公と日本倫理(同十月號)

實踐的判斷と疑惑的方法(同十月號)

ファイヒテの道德形而上學に於ける形式主義的倫理學

の克服(同十一月號)

倫理的統一(精神科學第一號)

オイケンの社會主義の歴史觀と平等觀(丁西倫理講演集

三月號)

勞農露西亞に適用されたる共產主義(同五月號)

赤神良讓  
中野登美雄

## 心理學

- 內觀論(コフカ)(哲學研究一月號) 岩井勝二郎  
 ザントの個人心理學に於ける基本概念(同五月號)  
 カール・ビュラー「心理學の危機」(同六月號) 宇都宮 仙太郎  
 了解心理學の一半面(哲學雜誌一月號) 大脇 義一  
 さるかゝりあひについて(同二月號) 淡路圓治郎  
 精神發達の法則に就いて(同五月號) 橘 高倫一  
 定位説の現況(同九月號) 桑田 芳藏  
 無意識精神作用に就いての試考(同十月號) 三宅 鑛一  
 人格的心理學の輪廓(精神科學第二號) 増田 惟茂  
 批判的内省(哲學第四輯) 久保 良英  
 思考の發達(教育心理研究一、三、五、六月號) 城戸 幡太郎  
 個性發達の心理と教育(同二、三、五月號) 淡路圓治郎  
 日本酒の心身に及ぼす影響に關する實驗的研究 榎崎 淺太郎  
 (同五、六月號) 是利 守衛
- 兒童道德意識の發達に關する調査(同七、八月號) 高木猶右衛門、大橋甚一、近藤富之丞  
 興味型の心理的研究(同八、十月號) 山 根 眞住  
 價値判斷測定尺度構成法について(同十一月號) 田 中 寛一  
 詩のリズムについて(心理學研究第一輯) 佐久間 鼎  
 文脈並に其層の交錯(同第一輯) 増田 惟茂  
 推理の一實驗的研究(同第一輯) 牛島義友、依田新  
 記憶の若干の問題についての實驗(同第一、三輯) 増田惟茂、高橋清一郎、印具昭夫  
 奥行知覺に於ける俯角の意義について(獨文) 佐久間鼎、失田部達郎  
 (同第一輯)  
 日本語のアクセントの實驗的研究(同第二輯) 小 幡 重一  
 二個工場に於ける適性考查實施の實驗(同第二輯) 増田 幸一  
 競争發走に於ける反應時間の研究(同第一輯) 中村 弘道  
 「疑惑」の實驗的考察(同第三輯) 留岡 清男  
 學習過程の實驗的研究(同第三、四輯) 牛島 義友

發達の概念に關する私見(同第三輯) 淡路園治郎

思考心理學と世界觀の心理學(同第三輯) 城戸幡太郎

所謂「進出色」の現象に就いて(同第四輯) 山下俊郎

兒童の知覺の構造とその發達(同第四輯) 淡路園治郎

二歳兒の形態知覺に關する一實驗(同第四輯)

文化の個性とその解釋(同第四輯) 田北耕也

日記の方法(同第四輯) 今井貢

呪術の心理(同第五輯) 橘覺勝

神と命(同第五輯) 大場千秋

上代日本人の言語意識について(同第五輯) 城戸幡太郎

文化貧民族の Misoneism について(同第五輯) 今井貢

模倣と創作との心理的原理(學校教育一、三月號) 入谷智定

個性心理研究(同十、十一、十二月號) 久保良英

精神分析學の解説(教育論叢一月號以下) 岡島龜次郎

プラトンの心理説(教育術界二、三月號) 同

兒童の想像生活(同二、三、四月號) 安部光穂

作業曲線に於ける聾兒普通兒の比較(倫理教育研究) 佐々田廣

七月號) 石川 七五三一

單純機能に於ける聾兒普通兒の比較(同十月號) 石川 七五三一

石川 七五三一

# 教育學

ペスタロッチーの勞作教育論(哲學研究二月號)

長田新

日本教育史上の手習(同五、七、十月號)

高橋俊乘

教育に於ける二つの原理に於いて(精神科學第一號)

福島政雄

我國の學校系統(同第二號)

佐藤熊治郎

ナトルプ教育學に於ける個的(同第二號)

手塚良道

人類の文明と教科目(同第三號)

福島政雄

モンテーニユの教育思想とロツクルソーの其れこの

聯關に於いて(同第四號)

辻幸三郎

映畫と教育(丁酉倫理講演集一月號)

小尾範治

舊思想と教育上の過失(同六月號)

野田義夫

最近心理學の傾向と「ヴェリアム・ステルン」の教育說

(同七月號)

林博太郎

デイルタイの教育本質觀(理想第七號)

海後宗臣

井ルヘルム・マイステルに現はれたるゲエテの教育思想

(龍谷大學論叢二、四月號)

大友抱璞

教育本質の一輪廓(倫理教育研究一月號)

乙竹岩造

精神科學としての教育學の基礎づけ(同一月號)

山田榮

デュルケムの汎社會學體系に於ける教育と道德

(同一月、四月、七月、十月號)

赤松昂

操行の自己評定(同四月號)

丸山良二

教育の本質(同十月號)

後藤三郎

科學體系に於ける教育學の地位(教育思潮研究第一卷

第二輯)

吉田熊次

中等教育に於ける漢文科(同二卷二輯)

春山作樹

教育思想家としての傳教大師(同二卷二輯)

黒上正一郎

教育上より見たる感化法と少年法(同二卷二輯)

菊池俊諦

ギリシャ時代の體育(同二卷二輯)

清水直三郎

デイルタイの教育論に就いて(同二卷二輯)

海後宗臣

入學試験に關する調査(同二卷第一輯) 諸

ヘルバルト教育學の哲學的基礎(同二卷二輯)

入澤宗壽

シユブランガー教授の教育本質觀に對する疑問

(同二卷一輯)

松月秀雄

弘法大師の體驗過程と青年時代の教育論

(同二卷一輯)

黒上正一郎

勞作學校思想の發達(同二卷一輯)

竹井彌七郎

學級論(學校教育一月一八月號)

佐藤熊治郎

使命の自覺に至るまでのフレイベル(同二月號)

福島政雄

價值妄見と善の教育(同、一、二月號)

辻幸三郎

成績査定問題(同六月號)

諸家

改正入學試驗制問題(同六月號)

諸家

コメニユースが實學主義鼓吹の奮闘生活八十年

(同五月號)

大槻正一

職業指導と學校教育(同十、十一、十二月號)

佐藤熊治郎

兒童圖書館經營の諸問題(同十一月號)

諸家

ゲエテの神祕主義(教育論叢二、三月號)

由良哲次

獨逸及び佛蘭西に於ける國語及び歴史の教育(同二月號)

佐々木秀一

經濟生活の諸側面と教育の機會との關係に就ての一研究

(同二月號)

青木誠四郎、岡田眞一

社會主義社會に於ける新教育の要望

田制佐重

學校及學級の本質と其經營

稻毛金七

教育と宗教(同四月號)

河合讓

中詩型往來物に現れたる歴史教授の理念(同四月五月號)

教育原理としての創造(同十二月號)

田制佐重

最近に於ける低學年教育の傾向(同四月號)

石川謙

職業指導に就て(同五月號)

小川正行

教育思想と制度(同六月號)

青木誠四郎

歴史教授と比較法(同六月號)

龍山義亮

教育に於ける「生命」の問題(同七月號)

栗田元次

愛の種々相と教育的愛(同八月號)

入澤宗壽

國史教育の方法の眼目について(同八月號)

鶴藤幾太

學校の教授と體驗思想(同九月號)

土田杏村

支那古代の教科書(同十月號)

榎山榮次

環境の分類(同十月號)

芝野六助

學級教育と群衆心理(同十月、十一月號)

高橋推治

英國に於ける初等教育の發達(同九、十月號)

河野清丸

郷土教育(同十一月號)

石川謙

師範教育の一瞥(同十二月號)

小川正行

ユートピア社會思想家の教育觀(同十二月號)

谷本富

教育原理としての創造(同十二月號)

田制佐重

教育原理としての創造(同十二月號)

稻毛金七

教育現象學とは何ぞや(教育學術界一月號)

渡部政盛

米國の職業教育(同十一月號)  
陶冶の概念を論ず(哲學雜誌十月號)

宮本圭三  
吉田熊次

漢堡市共同社會學校の現況(同二月號以下)

松月秀雄

江戸時代に於ける醫學教育と儒學との關係  
(同二、三、四月號)

浅野成俊

ヨーロッパの新教育について(同二、三月號)

小林澄兄

教育現象學に用ひた方法について(同四月號)

千葉命吉

文化教育學から見た教師養成の問題(同四、五、六月號)

縣 卷太郎

ヘルバルトとその教育學(同七月號)

入澤宗壽

宗教々育の效果と限界(同七、九月號)

大村桂巖

不良兒童の取扱に就いて(同八月號)

菊池俊諦

江戸時代に於ける學校論の發達(同九月―十二月號)

石川 謙

ペスタロツチの根本思想(同十月號)

木村秀吉

シラーの教育論に於ける美の問題(同十一、十二月號)

木村秀吉

シャイブナーに於ける作業學校(同十一、十二月號)

田花爲雄

(未完)